

じっくり心をこめて

スロー フード

70



おやき

おやきは皮の中に、野沢菜など野菜をたっぷり詰めた長野名物の焼きもちです。なかでも、おやきといえば野沢菜というくらい、人気の餡。野沢菜がない場合は、高菜漬けや京菜漬けで代用してもよいです。

《今月のご紹介》

関川村食生活改善推進員 の皆さん

材料 (5人分)

- ・薄力粉 250g
- ・ベーキングパウダー 18g
- ・水 160ml~
- ・野沢菜漬け 適量
- ・サラダ油 少々

作り方

薄力粉とベーキングパウダーを合わせ、水を少しずつ加えながら丸くこねる。(耳たぶくらいの硬さ) 固く絞った濡れ布きんか、ラップをかぶせて30分ほど寝かせる。

野沢菜をひと口大に切り、油で炒める。塩分が強い場合は水につけて塩出ししたものを使用する。

寝かせた生地を10等分にちぎって丸めて平たくし、の具を包む。

蒸し器に入れ、10分間蒸し、その後フライパンやオーブントースターで両面をこんがり焼く。



せきかわ文芸

短歌

立ち枯れて冬に入り行く茅すすき川べり
寂し釣り人いづこに

須貝 恵美
(高田)

夜昼と庶民の無事を見守りて蓑帽子
冠り地蔵尊立つ

佐藤 庄七
(愛広苑)

折りに触れ慰めくれし庭紅葉年経る枝の
姿に老いを

小池 啓子
(下関)

うぶすなの古木に潜む鴉群れ羽音も
たてず氷雨をしのぐ

山口 藤枝
(辰田新)

とき折は甲高き声笑い声にぎやかなりし
下校の児らは

渡辺千恵子
(上関)





社会教育に貢献した小池寿哉さんは大正七年五月十一日関川村下関に小池省造の長男として出生。昭和十六年三月明治大学専門部法科卒業。昭和十七年村松連隊に入隊。二十年八月十七日復員。九月より第四銀行に勤

近・現代 関川郷の人びと

執筆：佐藤貞治（「せきかわ歴史とみちの館」館長）

小池寿哉

務して職務に精励。昭和四十九年三月退職。その後五十四年九月から八年間第四銀行関代理店店主を務めた。

第四銀行に勤務する傍ら、敗戦の傷跡を引きずっている郷土に潤いをと考え、同志を募り昭和二十三年、荒川文芸友の会を組織し昭和三十一年まで文芸誌「あらかわ」を編集発行し村に文化活動の輪を広げた。その後、関谷村子どもを考える会主宰、文芸せきかわ編集委員長など民間の立場から積極的に村の文化活動、社会教育活動にかかわり、地域が明るく元気になるにはお互いの知恵や力を出し合い、話し合いを大切に、常に学びあうことが大切であると、実践を通して訴え続けた。

第四銀行退職後、昭和五十二年五月、社団法人新潟県社会教育協会の会員となり、地区幹事（二十年）、理事（兼地区幹事、八年）、参与（兼地区幹事、四年）を務めた。

地域住民に社会教育の重要性を説いて回り、また自身、早くに父を失い母親の苦勞を身近に眺めてきたことから、女性の自立、社会的地位の向上について早くから関心を持ち、「家庭科の男女共修を考える会」に関わることで一気に視野が広がる「女性学」を学ぶに至って社会的な活動へとつながった。県内

に「新潟県女性財団」や「いがた女性会議」などが設立され活動が始まるや、積極的にその諸会合に参加し、男女の間に横たわるさまざまな現象の根源を学んだ。さらにその輪を地域にも広げたいものと、「女性の地位向上を語る会」「ゆめを運ぶ若い風」「男社会の慣習を見直す」「男女平等を語る」など毎年のように公民館を会場に会合を開き問題の理解と実践をもとめた。「NHK新潟放送局と語る会」「新潟日報村上支局長と語る会」など影響の大きいマスメディアの現代的な課題を理解する機会にも積極的に取り組み、地域の社会教育の牽引者として活躍した。常々「私の趣味は社会教育」と表明してはばからない。

有言実行、高齢にもかかわらず常に新たな課題を見つけ、その解決のために村民に呼びかけ、会合を設定し、話し合う機会を設けている。

社会教育功勞により平成十七年十二月新潟県教育委員会表彰
平成二十一年十一月文部科学大臣表彰を受賞した。

小池家の系図

先祖

与惣兵衛……孝三郎

八代

省造 寿哉 正一郎

せきかわ文芸

関川俳句の会作品

自然薯や夕餈は揃い薯蕷汁 渡辺しづい

晩菊を刈りて今年の畑終い 渋谷 くに

お歳暮や孫の情の俳辞典 佐藤 ノブ

師走とは思えぬ月の冴え渡る 南 セツ

河川敷あきかん転ぶ秋の暮 五十嵐貞子

風呂吹やしばし眼鏡を外しけり 青木 慶一

せきかわ川柳会作品「開く」「したたか」

古日記開けば笑いとんで来る 渡辺しづい

古里の草原変えたあわだち草 南 セツ

したたかにこの人生をまつしぐら 高橋 イツ

後期の老お金で買える幸も知る 佐藤 ノブ

甲子園越後魂世に広め 本間 イミ

どの子にも母の窓には鍵がない 平田 千恵